

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★★★
単元	ぎなた読みを解説しよう。				
課題	次の文をどのような意味として読むでしょうか。 「くるまでまつ」 				
課題の説明	ぎなた読みとは、「『弁慶が、なぎなたを持って』と読むのを『弁慶がな、なぎなたを持って』と読むこと、句切りを誤って読むこと。」（デジタル大辞泉の解説より）です。 どのように区切るかで意味が変わります。 				

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	文法-言葉の単位-				
課題	言葉の単位を知ろう。				
課題の説明	①教科書を読もう。（光村図書 p 240～243、東京書籍 p 248～250） ②ノートにまとめよう。言葉の単位の1～5をそれぞれまとめよう。 ③言葉の単位がどのように区切られているかを考えておこう。				

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	文法-小学校の教科書-				
課題	小学校1年生国語の教科書表記（書かれ方）の意味を考えよう。				
課題の説明	下の文は小学校1年生国語の教科書「おおきなかぶ」の一節です。左は一般的な文の表記（書かれ方）です。 なぜ、右の文はこのようになっているのでしょうか。 おじいさんが、かぶのたねをまきました。 おじいさんが、かぶの たねを まきました。 				

対象学年	中1	教科	国語	難易度	★★★★
単元	文法-言葉の単位を理解して-				
課題	ぎなた読みのできる文を考えよう。				
課題の説明	①簡単な文を見つけましょう。 ②正しい文節に区切ってみよう。 ③文節の場所を変えたり、単語の一部を文節にしてみよう。 ③二通りの意味になるように作ろう。 例「わたしはみがきじょうずです。」 A 私は、みがき上手です。 B 私、齒みがき上手です。				

対象学年	中 1	教科	国語	難易度	★★★★
単元	文法-こんなときに文法は必要-				
課題	あなたは小説家だとします。次の文を、「海へ行った」ことが、より印象に残る文に変えたいと思います。 でも、言葉は削りたくありません。 したがって、文節の場所だけを変えて、より印象に残る文に書き換えてください。 「私はきのう青く美しい海へ行った。」 				
課題の説明	①文を文節に分けます。 ②文節の順番を変えて見よう。 ③文の意味が変わっていないか確認しよう。 ④「海へ行った」ことが、より読者に伝わっていれば完成です。				